

今後の幼児教育・保育政策の展望について

村上 由紀



〔質問〕子育てと仕事を両立できるよう、令和8年度から病児病後児保育事業をスタートしてはかがが理解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕本年4月に白石市医師会から、病児病後児保育施設の開設に向け要望書が提出され、現在、公立刈田総合病院に設置する準備を進めている。

〔質問〕休園保育施設の維持管理と利活用について伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕維持管理費は3園合わせて年間約270万円程度の見込み。休園施設は、制度上、他の用途として活用できないことになっている。閉園後は「解体して地区の交流の場と

して使わせて欲しい。地区の集会所として借りることはできるのか」等のご意見もあり、施設の状態も踏まえ検討していく。

〔質問〕休園施設が廃園となる、時期的なことを含めて伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕令和10年度中の廃園を想定している。

〔質問〕白石市認定こども園開設までのスケジュールを伺う。

〔答弁〕〔こども未来課長〕建設予定地の旧白石市いきいきプラザの解体は令和8年度までかかる見込み。建設は令和9年度から、完成は令和10年度中を目指す。

◎白石市小・中学校教育の在り方について

〔質問〕在籍見込み数の推移から、答申にあるような学校再編よりも前に、従来型の学校統

廃合を視野に入れなければならないと考えが見解を伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕現在、小学校は10校中4校が完全複式学級となっており、数年後に10校中7校が完全複式学級になる見込みである。この状況を鑑みれば「よりよい学びの環境」という観点からも、従来型の学校統廃合も視野に入れ検討することも必要ではないかと、学校管理課内にプロジェクトチームを設置、令和7年度中に、本市小中学校のあり方に関する方針案を策定する予定である。

〔質問〕本市の小中一貫義務教育学校新設の見通しについて伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕今年度中に新設までのスケジュールもお示ししたい。義務教育学校は従来の小中学校とは異なる仕組みでもあることから、市民の皆さまに、義務教育学校の姿をお知らせする機会も設けられればと考えている。

県道白石柴田線白石第一小学校北側通りの安全対策について

四電 英夫



〔質問〕県道白石柴田線、白石第一小学校北側通りの安全対策について伺う。この区間には道の両側に電柱が数多く

〔答弁〕〔都市創造課長〕質問の内容については十分認識している。そのため道路管理者である宮城県に対し歩道の設置や道路拡幅などの安全対策を要望してきている。しかし、住宅街であるため道路の拡幅は進んでいない。

立っており道幅が狭くなっている。車両はその間を縫うように走行し、歩行者も危険を感じながら通行している。特に小学校児童・生徒の通学路でもあり、安全

本市としては、無電柱化に限定せず安全対策を県に対して要望していきたい。

◎白石市博物館構想について

〔質問〕白石市博物館構想について伺う。この構想は昭和60年代に提唱され、平成17年に基本構想が描かれ設立準備委員会が設置された。いつ頃までにどのような形で建設を行う構想か伺う。

〔答弁〕〔生涯学習課長〕

白石市博物館基本構想をもとに建設委員会を定期的に開催している。歴史資料の調査や資料の寄付寄託受け入れによる資料の散逸防止の取り組みへの助言など行なっている。

〔質問〕今後の取り組みを伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕現時点で具体的な計画について審議をしている段階ではないが、博物館に類する施設は必要であると考えている。今後とも博物館等の設置に向けた検討を進めていく。

〔質問〕構想を進めるための方策を伺う。

〔答弁〕〔市長〕第6次白石市総合計画においても歴史遺産、伝統文化を伝える博物館などの建設に向けた整備の推進を掲げている。博物館単体の設置ではなく、他施設との再編に併せ機能を複合化した施設の整備を含めて検討を重ねていきたい。